



JANGA COIN

WHITE PAPER

遊ぶ。集める。つながる。

現実の JANGA とデジタル体験を結ぶユーティリティトークン

Version 2.2 正式開示版

発行日：2026 年 7 月 30 日

発行・運営主体：株式会社 GLS

本書は投資勧誘、暗号資産交換業、金融・法律・税務上の助言を目的とするものではありません。

公式情報・重要事項

文書の位置づけ 本書は、配置済みの固定供給型 JANGA Coin (JNG) の設計、利用構想、技術仕様、運営方針およびリスクを説明する Version 2.2 正式開示版です。実際の提供条件は最新の利用規約、リスク説明、法令対応およびオンチェーン情報を優先します。

項目	正式情報 (2026 年 7 月 30 日現在)
ネットワーク	Polygon Mainnet (Chain ID 137 / 0x89)
JNG コントラクト	0xa3314a6e2cc2a5235128dfb46aa992d2cf7e390f
配置トランザクション	0xd600cf981369ac550a871b7ab23d93b88d4e5f157121852d0b21d416e54c9b49
デプロイ日時	2026 年 7 月 21 日 (日本時間)
Owner / トークン管理者	なし
固定総供給量	10,000,000,000 JNG (100 億 JNG)
初期トレジャリー配分	10,000,000,000 JNG を 0x0CbdB0E141FC2829bEC5Dc9eE23cd0633c83bF90 へ生成
Decimals	18 (ERC-20 標準精度)
Exchange V3 コントラクト	0x270b90ab8f7c2c3dcc32b6f44551fc08c53f6d03
カード NFT	0xd44F37bd299DA4b2439B5072115Fd3eB27abfCAB
パスポート NFT	0x280A6d2d00125E04d2c0617d3a942c5C3bCAf9E4
公式 QuickSwap v2 プール	0x878f39fcfd881d16a85db4d61bd98a46cc1c31cd
発行・運営主体	株式会社 GLS

真正なコントラクト情報は、JANGA 公式媒体と PolygonScan の表示を照合してください。秘密鍵・シードフレーズを運営者が求めることはありません。

目次

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 本ホワイトペーパーについて | 17. ERC-20 基本機能 |
| 2. JANGA の誕生 | 18. V1 プロトタイプ of 廃止と V2 との区別 |
| 3. JANGA とは | 19. アプリ内残高とオンチェーン JNG |
| 4. JANGA 公式アプリ | 20. ウォレット |
| 5. JANGA Coin とは | 21. 供給配分方針 |
| 6. 100 億 JNG の固定供給 | 22. ユーティリティと無料配布方針 |
| 7. 18 桁の標準小数設計 | 23. QuickSwap 流動性方針 |
| 8. JNG の目的 | 24. セキュリティ、監査および法務確認 |
| 9. JNG の主な利用方法 | 25. トレジャリー管理とガバナンス |
| 10. JANGA トレーディングカードと NFT | 26. 法令およびコンプライアンス |
| 11. NFT コントラクト | 27. 酒類および年齢制限 |
| 12. NFT に関する権利 | 28. ロードマップ |
| 13. 固定供給と配布方法 | 29. 運営主体 |
| 14. トークン単体のバーン・再発行機能なし | 30. 主なリスク |
| 15. Owner・発行権限なし | 31. 免責事項 |
| 16. 一時停止・ブラックリスト機能なし | 32. 結論 |

JANGA Coin 宣言

JANGA は、ただ飲むためのお酒ではない。

酒、ゲーム、光、音、カード、ランキング、NFT、そして仲間との時間をつなぎ、忘れられない夜を生み出すための体験型プロダクトである。

JANGA Coin は、その体験を現実世界からデジタルの世界へ広げるために生まれた。

遊んだ記録。

集めたトレーディングカード。

ゲームで獲得した実績。

参加したイベント。

出会った人々。

その夜に生まれた物語。

これらを JANGA エコシステムの中でつなぎ、残し、交換し、新しい体験へ変えていく。

JANGA Coin は、値上がりだけを目的とした投機商品ではない。

JANGA という世界を動かすための、デジタルユーティリティである。

1. 本ホワイトペーパーについて

本ホワイトペーパーは、JANGA Coin（以下「JNG」）の目的、機能、技術仕様、供給方針、JANGA 公式アプリおよび NFT との連携構想を説明するための資料である。

本書は、株式、社債、ファンド持分、有価証券その他の金融商品の募集または販売を目的とするものではない。

JNG の保有者には、株式会社 GLS または株式会社 GLS が運営する JANGA プロジェクトに対する次の権利は付与されない。

- 株主権
- 会社経営に関する法的議決権
- 配当請求権
- 利益分配請求権
- 元本返還請求権
- 法定通貨への換金請求権
- 最低価格または価格上昇の保証
- JANGA 商品との無条件交換請求権

JNG の機能、提供地域、利用条件および外部移転の可否は、各国の法令、技術環境、セキュリティ、運営方針およびサービスの開発状況によって変更または制限される場合がある。

2. JANGA の誕生

JANGA の原型は、2015 年の東京で生まれた。

仲間たちがテーブルを囲み、音楽、車、バイク、恋愛、人生について語りながら、ゲームとお酒を楽しんでいた時間。

その中で生まれた、

「もっと気軽に、もっと楽しさを広げるようなお酒があったらいい」

という発想が、JANGA の始まりだった。

「お酒」「ゲーム」「仲間との時間」をひとつにする構想は 2015 年の段階で生まれていたが、実際の製品化には長い時間を要した。

ボトルの形状、積み上げたときのバランス、液漏れ、素材、金型、キャップ、重量、透明度、パッケージなど、数多くの問題を解決する必要があった。

さらに世界的なパンデミックによって開発が一時中断したが、構想から約 10 年を経た 2025 年、JANGA は現実の商品として完成した。

株式会社 GLS は、ボトル、キャップ、パッケージおよびブランド体験を一体として設計し、JANGA の商品化とデジタル展開を進めている。

3. JANGA とは

JANGA は、54 本の小型ボトルを積み上げて遊ぶ、体験型のパーティードリンクである。

54 という本数は、ジョーカーを含むトランプのフルセットと同じ数である。

プレイヤーはボトルを抜き、積み、崩し、ゲームを楽しむ。タワーが崩れた後は、キャップに記載されたトランプのマークと数字を利用して、さまざまなゲームへ展開できる。

JANGA は、次の体験をひとつにまとめたプロダクトである。

- 酒を味わう
- バランスゲームで遊ぶ
- トランプゲームで遊ぶ
- 写真や動画を撮影する
- SNS で共有する
- 仲間との時間を記録する
- JANGA 公式アプリと連動する

JANGA は、商品としての酒だけではなく、光、音、ゲーム、ランキング、トレーディングカード、SNS を接続する「夜を起動する装置」へ進化することを目指している。

4. JANGA 公式アプリ

JANGA 公式 WEB アプリは、2026 年 6 月 19 日に公開された。

JANGA 商品に同梱された QR カードを読み込むことで、商品の開封や JANGA 体験を記録し、全国ランキングなどへ参加できる仕組みが導入されている。

アプリには、都道府県別、年代別、全期間などのランキング機能に加え、ルーレット、ブラックジャック、ポーカーなどの JANGA 専用ゲームが用意されている。

今後の JANGA 公式アプリは、次の機能を統合するデジタルプラットフォームを目指す。

- JANGA 連動ゲーム
- ユーザーアカウント
- JANGA 商品認証
- QR カード認証
- ランキング
- デジタルトレーディングカード
- NFT
- JANGA Coin
- ウォレット
- イベント
- 店舗連携

- コミュニティ
- 世界各地のユーザーとの接続

JNG は、これらの機能を横断して使用できる、JANGA エコシステム共通のユーティリティトークンとして設計される。

5. JANGA Coin とは

JANGA Coin は、JANGA 公式アプリ、ゲーム、トレーディングカード、NFT、イベント、商品認証およびコミュニティを接続するための ERC-20 互換トークンである。

名称および基本情報は次のとおり。

項目	内容
正式名称	JANGA Coin
シンボル	JNG
規格	ERC-20 互換
最大供給量	10,000,000,000 JNG
日本語表記	100 億 JNG
小数点以下桁数	18
最小単位	10 のマイナス 18 乗 JNG
主な用途	ゲーム、NFT、カード、特典、イベント
ネットワーク	Polygon Mainnet (Chain ID 137)
コントラクトアドレス	0xa3314a6e2cc2a5235128dfb46aa992d2cf7e390f
法定通貨との交換保証	なし
配当・利益分配	なし
元本保証	なし

ERC-20 は、トークンの移転、残高確認、利用承認などに共通のインターフェースを提供する規格であり、対応ウォレットや分散型アプリケーションとの接続に利用されている。

6. 100 億 JNG の固定供給

JNG の総供給量は 10,000,000,000 JNG（100 億 JNG）に恒久的に固定されている。

全供給量はデプロイ時にコントラクターで一度だけ生成され、公式トレジャリーウォレットへ移転された。

正式トークンには外部から呼び出せる mint 機能がなく、運営者を含む誰も 100 億 JNG を超えて追加発行できない。

固定供給は運用上の約束ではなく、配置済みコードによって強制される。

7. 18 桁の標準小数設計

JNG は、主要な ERC-20 と同じ 18 桁の小数精度を使用する。

1 JNG は 10 の 18 乗の最小単位で構成される。ウォレットや JANGA 公式アプリは利用者向けの JNG 数量へ換算して表示する。

MetaMask、分散型取引所、ポートフォリオツールなど、一般的な ERC-20 基盤との互換性を高めるための仕様である。

- アプリ内の価格や報酬は、利用者に分かりやすい場合は整数 JNG で表示することがある。

8. JNG の目的

JNG の目的は、JANGA エコシステム内で生まれる複数の体験を、ひとつの共通価値によって接続することである。

従来のゲーム内ポイントは、原則として特定サービスの内部だけで管理される。

JNG では、ブロックチェーンを利用することで、対応するウォレット上で残高および移転履歴を確認できる仕組みを目指す。

JNG は、次の世界を接続する。

現実世界

- JANGA 商品
- JANGA 導入店舗
- イベント
- パーティー
- 商品に同梱された QR カード
- JANGA を通じて生まれた人とのつながり

デジタル世界

- JANGA 公式アプリ
- ゲーム
- ランキング
- トレーディングカード
- NFT
- デジタルアイテム
- ウォレット
- オンラインコミュニティ

9. JNG の主な利用方法

9.1 ゲーム報酬

ユーザーは、JANGA 公式アプリ内の対象ゲーム、ミッション、イベント、ランキングおよびキャンペーンを通じて JNG を獲得できる場合がある。

すべてのゲームで無条件に JNG が付与されるわけではない。

対象ゲーム、報酬数量、獲得上限、参加条件および不正対策は、ゲームごとに設定される。

ゲーム結果だけで大量の JNG が発行され続けることを防ぐため、日次、週次、月次またはイベント単位で配布上限を設ける場合がある。

9.2 NFT との交換

ユーザーは、保有する JNG を使用して、JANGA 公式アプリまたは対応するスマートコントラクトから対象 NFT を取得できる場合がある。

交換対象として、次の NFT を想定する。

- JANGA 公式トレーディングカード
- レアカード
- 限定デザインカード
- イベント記念 NFT
- 店舗限定 NFT
- 商品連動 NFT
- コラボレーション NFT
- デジタルアート
- 称号 NFT
- 実績証明 NFT
- ゲーム内アイテム NFT
- JANGA の酒をテーマにしたコレクション NFT

必要となる JNG の数量は、NFT のレアリティ、発行数、内容および取得条件によって異なる。

9.3 トレーディングカードの NFT 化

JANGA 公式アプリ内で取得または制作した対象トレーディングカードを、ブロックチェーン上の NFT として発行できる機能を導入する予定である。

JANGA では、キャバクラ、ガールズバー、ホスト、バーテンダーなど、夜の世界で活動する人物をモデルにした公式トレーディングカードを展開している。

カードには、SSR、SR、R などのレアリティ、能力値、スキル、コメントなどを設定できる。一部の対象カードについては、限定数の NFT として発行する構想が公開されている。

NFT 化には、次の条件を設定する場合がある。

- 指定数量の JNG を使用する
- 一定以上のレアリティを保有する
- 指定レベルへ到達する
- 対象イベントへ参加する
- モデル本人または権利者の承諾を得る
- 対応ウォレットを接続する
- 不正取得ではないことを確認する
- 必要に応じて本人確認または年齢確認を行う

NFT 化に使用された JNG は、公式トレジャリーへの移転または別コントラクトによるロックの対象となる場合がある。
V2 トークン自体にバーン機能はない。

9.4 ゲーム内アイテム

JNG は、対象ゲームにおいて次の機能に利用できる場合がある。

- 限定アイテムの取得
- 限定キャラクターの解放
- カードデザインの変更
- カードのレベルアップ
- スキルの追加
- 特殊演出の解放
- イベントステージへの参加
- デジタルコレクションの取得
- プレイヤー名やプロフィールの装飾
- 特別な称号の取得

JNG の利用だけで勝敗が一方的に決まらないよう、ゲームバランスおよび公平性に配慮する。

9.5 イベント参加

JNG を使用して、JANGA 主催または提携先が実施する対象イベントへ参加できる場合がある。

例として、次の企画を想定する。

- オンラインゲーム大会
- トレーディングカード大会
- JANGA 導入店舗イベント
- NFT 保有者限定イベント
- 新商品発表イベント
- 限定カード配布イベント

- クリエイターとのコラボレーション
- 地域限定キャンペーン

JNG の使用によって酒類が自動的に提供されるものではない。酒類の販売および提供は、別途、各地域の法令、年齢制限および店舗規則に従う。

9.6 商品および QR カードとの連動

JANGA 商品に同梱された QR カードなどを利用し、現実の商品とデジタル体験を接続する。

対象商品の認証によって、次の特典を提供する場合がある。

- JANGA 開封記録
- ランキングへの反映
- 限定トレーディングカード
- JNG 獲得機会
- 限定ゲーム
- 商品別 NFT
- シリアル番号付きコレクション
- 店舗または地域限定コンテンツ

QR コードを読み込むだけで必ず JNG が付与されるとは限らず、対象商品、キャンペーン期間、利用回数および不正防止条件が設定される。

9.7 パートナーサービス

将来的には、JANGA 導入店舗、酒類メーカー、飲食店、イベント事業者、アーティスト、モデル、ゲーム開発者およびクリエイターとの連携を検討する。

提携先での JNG 利用は、技術、契約および法令上の確認が完了した範囲で実施する。

10. JANGA トレーディングカードと NFT

JANGA トレーディングカードは、単なる画像ではない。

人物、店舗、酒、イベント、地域、物語および実績をカードとして記録し、JANGA の世界を集めるためのデジタルコレクションである。

カードには、次の情報を設定できる。

- カード名
- キャラクター名
- 写真またはイラスト
- レアリティ
- カード番号
- シリアル番号

- レベル
- HP
- 能力値
- 属性
- スキル
- スキル説明
- コメント
- 所属
- 地域
- 発行シリーズ
- 発行日
- NFT トークン ID

NFT 化されていないアプリ内カードと、ブロックチェーン上の NFT カードは、別のデータとして管理される場合がある。

NFT 化する際には、アプリ内カードのロック、消費、状態変更または NFT との紐付けを行い、同じカードが不正に重複発行されることを防止する。

11. NFT コントラクト

現在の配置状況 Polygon Mainnet 上で、カード NFT (0xd44F...fCAB) および JANGA パスポート NFT (0x280A...f9E4) をアプリから参照しています。NFT の発行条件・対象カード・メタデータは運用方針により変更される場合があります。

添付された JANGA Coin コントラクトは、JNG を管理する ERC-20 互換コントラクトである。

このコントラクト単体には、NFT の発行、NFT との自動交換、画像保存、カード能力値の管理および NFT マーケット機能は含まれていない。

NFT 機能は、JNG とは別のスマートコントラクトおよび JANGA 公式アプリによって実装する。

NFT には、用途に応じて次の規格を採用する予定である。

- 固有のカードや一点物：ERC-721
- 同一デザインを複数発行するカードやアイテム：ERC-1155
- JNG との交換機能：専用交換コントラクト
- NFT 販売機能：専用販売コントラクト
- NFT 発行機能：専用ミントコントラクト

NFT の画像やメタデータには、分散型ストレージまたは信頼性の高い外部サーバーを利用する場合がある。

12. NFT に関する権利

NFT を保有することは、その NFT のトークンを保有していることを意味する。

ただし、NFT を取得しただけで、NFT に使用されている次の権利が自動的に移転するわけではない。

- 著作権
- 商標権
- 肖像権
- パブリシティ権
- 写真の著作権
- キャラクターに関する権利
- JANGA のブランド権
- 商業利用権
- 二次創作を許可する権利

NFT 保有者が利用できる範囲は、NFT ごとの利用規約またはライセンス条件によって定める。

原則として、JANGA NFT には次の個人的利用を認める予定である。

- 自分のウォレットで表示する
- JANGA 公式アプリで使用する
- 個人の SNS で紹介する
- 対応マーケットプレイスで移転する
- 対応ゲームで使用する
- 対象イベントで保有証明として使用する

商品化、広告利用、大量複製、画像販売、無断改変、商標登録その他の商業利用は、別途明示的に許可された場合を除き認められない。

人物を使用したトレーディングカードについては、本人または正当な権利者から、アプリ、ゲーム、NFT、イベントおよびプロモーションで使用するための許諾を取得する。

13. 固定供給と配布方法

正式 JNG コントラクトには Issuer 権限および mint 機能がない。

デプロイ時に固定供給量の全量を公式トレジャリーウォレットへ移転した：

0x0CbdB0E141FC2829bEC5Dc9eE23cd0633c83bF90

アプリ報酬、交換在庫、流動性、NFT、イベント、提携および長期運用への配布は、既存のトレジャリー保有分からのみ行う。

1. 別コントラクトである Exchange V3 には管理された数量を事前補充し、Exchange V3 自体は JNG を発行できない。
2. トレジャリーおよび交換コントラクトの移動履歴は PolygonScan で確認できる。

14. トークン単体のバーン・再発行機能なし

正式トークンには burn、burnFrom および mint 機能がない。

JANGA エコシステム内で使用または回収された JNG も、別の検証可能なアドレスへの移転または別コントラクトでのロックがない限り、固定された 100 億 JNG の一部として残る。

運営による回収・再利用で総供給量が増えることはない。

将来ロックや処分方針を導入する場合は別途開示し、トークンコントラクト自体は変更しない。

15. Owner・発行権限なし

正式 JNG トークンには Owner、管理者、Issuer または特権的な送付権限が存在しない。

プロキシやアップグレード機能がなく、デプロイ後にトークン仕様を変更できない。

- トレジャリーウォレットは自らが保有する JNG だけを管理し、他の保有者の残高やトークン規則を変更できない。
- 運用コントラクトおよびアプリサーバーは、トークンとは分離された別の管理対象である。

16. 一時停止・ブラックリスト機能なし

正式トークンには送付停止、特定ウォレットのブラックリスト、送付税または没収機能がない。

事故発生時、JANGA はアプリ側の交換・報酬・配布機能を停止できるが、通常のオンチェーン ERC-20 送付は変更不能なトークンコントラクトに従う。

- 利用者は秘密鍵、シードフレーズ、接続ウォレットおよび送付先を自ら保護する必要がある。

17. ERC-20 基本機能

JNG コントラクトには、次の基本機能が実装されている。

機能	内容
name	JANGA Coin を返す

機能	内容
symbol	JNG を返す
decimals	18 を返す
totalSupply	固定総供給量を最小単位で返す
MAX_JNG	10,000,000,000 を返す
FIXED_SUPPLY	10,000,000,000 × 10 の 18 乗を返す
balanceOf	指定アドレスの残高を返す
transfer	JNG を送付
approve	利用許可を設定
allowance	許可済み数量を返す
transferFrom	許可済み数量を送付

18. V1 プロトタイプの廃止と V2 との区別

JNG V1 は 2026 年 7 月 14 日に技術検証用として配置されたプロトタイプであり、一般ユーザーへの配布および一般向け有料販売は行っていない。

V1 コントラクト：0x9d52fdd70f8162c40cebd3babbf37722bd0895f5

V1 は小数点以下 0 桁、Owner・Issuer・mint・pause 等の管理機能を持つため、現在の正式仕様ではない。

2026 年 7 月 30 日、Polygon 上で V1 トークンおよび旧 Exchange V2 が停止中であることを確認した。V1 の通常送付、追加発行およびバーンは停止状態を維持している。旧 QuickSwap プールの公式流動性は撤去済みで、公式アプリは V1 を使用しない。

V1 のコントラクトコード自体はブロックチェーン上から削除できない。しかし 2026 年 7 月 30 日、V1 トークンおよび旧 Exchange V2 の所有権を変更不能な永久廃止コントローラーへ移管し、finalizeRetirement()を実行した。同コントローラーには任意呼出し、トークン管理、アップグレード、回収、所有権再移管または self-destruct 機能が存在しない。最終公開状態は [true, true, true, true, true] であり、旧 Owner は両コントラクトの停止を解除できない。V1 は永久廃止・運用終了・使用非推奨・サポート対象外である。

V1 残高から V2 への移行は行わず、交換、救済、償還、買戻しおよび将来の再開も行わない。V1 を V2 として取り扱ってはならない。

正式な JNG は V2 コントラクト 0xa3314a6e2cc2a5235128dfb46aa992d2cf7e390f のみである。

19. アプリ内残高とオンチェーン JNG

JANGA 公式アプリでは、利便性、処理速度、ガス代および不正対策を考慮し、アプリ内の表示残高とブロックチェーン上の JNG を分けて管理する場合がある。

想定される構成は次のとおり。

アプリ内管理

- ゲーム結果
- 経験値
- ガチャポイント
- キャンペーン報酬
- カードレベル
- ランキング
- NFT 化前のカード
- 一時的な JNG 獲得記録

ブロックチェーン管理

- 外部ウォレットへ出庫された JNG
- ウォレット間の JNG 移転
- NFT の所有者
- NFT のトークン ID
- オンチェーンで実行された交換
- 移転および交換の記録

アプリ内で「JNG」と表示されていても、外部ウォレットへ出庫されるまでは、ブロックチェーン上の JNG ではなく、アプリ内部の利用権または受取予定残高として管理される場合がある。

この区別は、利用規約およびアプリ画面上で明確に表示する。

20. ウォレット

JANGA 公式アプリでは、ブロックチェーンに詳しくないユーザーでも利用できる仕組みを提供し、継続的な改善を行う。

現在の基本的なウォレット方式は次のとおり。

20.1 JANGA アプリ内ウォレット

JANGA 公式アプリ内で、JNG および NFT を確認できるウォレット機能を提供している。

秘密鍵の管理方式、復元方法、端末変更、アカウント削除および紛失時の対応は、最新の利用規約およびアプリ画面で明示する。

20.2 外部ウォレット

ユーザーは MetaMask を接続し、JNG および NFT を自分のウォレットで確認・管理できる。

外部ウォレットへ移転した後は、ユーザー自身が秘密鍵、シードフレーズ、パスワードおよび送付先アドレスを管理する。

秘密鍵やシードフレーズを紛失した場合、原則として株式会社 GLS が復元することはできない。

21. 供給配分方針

V2 の固定総供給量 100 億 JNG は、デプロイ時に全量が株式会社 GLS 管理の公式トレジャリーへ生成された。以下は会計・運営上の用途別上限であり、各数量がすでに別ウォレットへ移転済みであることを意味しない。

区分	比率	上限数量
ユーザー報酬・ユーティリティ	45.0%	4,500,000,000 JNG
長期トレジャリー準備金	25.0%	2,500,000,000 JNG
開発・セキュリティ・法務・監査	12.0%	1,200,000,000 JNG
提携・導入促進	8.0%	800,000,000 JNG
マーケティング・コミュニティ	5.0%	500,000,000 JNG
チーム・社員インセンティブ	4.9%	490,000,000 JNG
DEX 流動性枠	0.1%	10,000,000 JNG
合計	100.0%	10,000,000,000 JNG

トレジャリーは特定個人の持分として表示せず、株式会社 GLS がプロジェクト目的で管理する。社員向けは独立したインセンティブ枠とし、流動性プールの持分とは分離する。

ユーザー報酬枠はアプリ報酬、QR 報酬、ゲームコインから JNG への交換および承認済みキャンペーンに使用する。

チーム・社員インセンティブ枠は原則 12 か月のクリフ後、36 か月で月次付与する。退職、契約終了、不正行為等の未確定分の取扱いは別途社内規程で定める。

未使用分は公式トレジャリーに留まり、用途間の重要な変更は次回改訂または公式透明性報告で開示する。

22. ユーティリティと無料配布方針

株式会社 GLS は、現時点で JNG の ICO、プレセール、クラウドセール、法定通貨による直接販売その他の一般向け有料販売を行わない。

公式な新規配布経路は、JANGA 公式アプリの報酬、商品・QR に連動する報酬、およびアプリ内ゲームコインから JNG への交換に限定する。

Exchange V3 は事前補充された JNG だけを配布し、JNG を追加発行できない。最低交換量は 100 JNG、1 回・1 ウォレット 1 日・アプリ全体 1 日の上限は各 100,000 JNG である。

配布条件、上限、不正防止、対象地域、本人・年齢確認その他の条件は、法令、セキュリティおよびサービス状況に応じて変更または停止できる。

第三者 DEX での売買はブロックチェーン上で独立して行われ得るが、株式会社 GLS による投資勧誘、価格保証、換金保証または買戻し約束を意味しない。

23. QuickSwap 流動性方針

公式 QuickSwap v2 WPOL/JNG プールは 0x878f39fcfd881d16a85db4d61bd98a46cc1c31cd である。

項目	2026 年 7 月 30 日確認値
公式プール	0x878f39fcfd881d16a85db4d61bd98a46cc1c31cd
プール残高	6,015.39942 WPOL / 77,779.7271 JNG
公式 LP 管理	株式会社 GLS 管理トレジャリー
第三者ロック	未実施・ロック済みとは表示しない
JNG 流動性枠	最大 10,000,000 JNG（段階投入）

Polygon block 91,111,603 の確認値は、約 6,015.39942 WPOL および 77,779.7271 JNG である。流動性は小規模であり、大口取引では大きな価格変動やスリッページが発生し得る。

株式会社 GLS は最大 10,000,000 JNG を DEX 流動性用途として確保する。ただし、これは一括投入の約束ではなく、対となる WPOL 等の資産、法務確認、市場状況、価格影響およびセキュリティを確認しながら段階的に実行する上限である。

LP トークンは個人または社員へ分配せず、株式会社 GLS 管理の公式トレジャリーまたは公開可能なマルチング／ロックコントラクトで管理する。

2026 年 7 月 30 日現在、公式 LP トークンの大部分は公式トレジャリーが保有し、第三者ロッカーによるロック済みとは表示しない。ロックを実施した場合は、対象割合、期間、コントラクトおよびトランザクションを公開する。

株式会社 GLS は流動性、最低価格、価格維持、希望価格での売却、上場または買戻しを保証しない。

24. セキュリティ、監査および法務確認

V2 トークンは固定供給で、Owner、mint、pause、blacklist、transfer fee、proxy および upgrade 機能を持たない。配置後に運営者がトークン規則や第三者残高を変更できない。

Exchange V3 はトークンと分離され、事前補充在庫、署名付き請求、JST 基準の日次上限、再利用防止、低 s 署名確認およびアプリ側停止機能を備える。

2026 年 7 月 30 日現在、弁護士による法務・表示内容の確認を進めている。確認中であることは、法令適合性の保証、暗号資産交換業登録または当局承認を意味しない。

2026 年 7 月 30 日現在、独立した第三者セキュリティ会社による正式なスマートコントラクト監査は完了していない。ソース公開・検証、社内コードレビュー、コンパイルおよびオンチェーン動作確認と、独立監査は区別する。

監査や法務確認を実施しても、コントラクト、ウォレット、ネットワーク、サーバー、フィッシング、規制変更および人的ミスのリスクは完全には排除できない。

利用拡大、外部上場申請または重要な販売方針変更の前に、トークン、Exchange V3、トレジャリー運用およびアプリ連携を対象とする第三者レビューを検討し、完了時は報告書または要約、対象範囲、日付および指摘対応状況を公開する。

25. トレジャリー管理とガバナンス

公式トレジャリー：0x0CbdB0E141FC2829bEC5Dc9eE23cd0633c83bF90

確認時点の残高：約 9,998,742,626.6945 JNG。Exchange V3 在庫は 999,800 JNG。これらは公開ブロックチェーン上で変動する。

トレジャリー残高は株式会社 GLS が JANGA プロジェクト目的で管理するものであり、特定個人の私有持分として表示しない。

報酬、流動性、運営・開発、社員インセンティブを会計上分離し、用途、送付先、数量、承認者およびトランザクションを記録する。秘密鍵・シードフレーズは公開しない。

原則として四半期ごとに、主要ウォレット残高、配布実績、流動性、重要移転および配分方針の変更を公式媒体で開示する。

重要移転は複数承認を原則とし、実務準備後にマルチング化または同等の職務分離を行う。実施前にマルチング済みとは表示しない。

26. 法令およびコンプライアンス

JNG は JANGA エコシステム内のユーティリティ利用を目的としているが、法的分類は名称ではなく、販売、移転、交換性、管理および実際の運用によって判断される。

株式会社 GLS は現時点で JNG の一般向け有料販売、法定通貨との交換、ユーザー資産のカस्टディおよび買戻しを行わない。

JNG の外部移転、DEX、NFT、海外提供、景品・報酬、税務、マネーロンダリング対策および酒類連動施策は、弁護士その他の専門家による確認と対象地域の法令に従う。

必要な登録、許認可、契約、本人確認または提携が整わない場合、株式会社 GLS は対象機能、配布地域、数量または利用条件を制限・停止できる。

本書は JNG が法的に特定の区分に該当する、または該当しないことを保証しない。

27. 酒類および年齢制限

JANGA は酒類を含む商品であるため、JANGA 商品、酒類連動イベントおよび酒類特典には年齢制限が適用される。

日本国内においては、20 歳未満の者による飲酒および酒類購入を認めない。

海外では、それぞれの国または地域で定められた法定飲酒年齢を適用する。

JNG または NFT を保有していても、年齢確認を完了していないユーザーに酒類を販売または提供することはない。

株式会社 GLS が運営する JANGA プロジェクトは、次の行為を推奨しない。

- 20 歳未満の者の飲酒
- 飲酒運転
- 一気飲み
- 過度な飲酒
- 飲酒の強要
- ゲーム結果による危険な飲酒
- 健康を害する飲酒行為

JANGA 公式アプリのゲームは、酒を飲まないユーザーでも楽しめる設計を目指す。

28. ロードマップ

進捗基準日 2026 年 7 月 30 日現在、固定供給型 JNG、Exchange V3、公式 QuickSwap v2 プール、カード NFT、パスポート NFT およびアプリ連携は Polygon Mainnet へ配置済みです。法務確認、セキュリティ監視、配分開示およびエコシステム開発を継続します。

Phase 0 : JANGA の誕生

- 2015 年：JANGA の原型となる構想
- ボトル、キャップ、金型およびバランスの研究
- 液漏れ対策
- パッケージ開発
- 世界的パンデミックによる一時中断
- 2025 年：JANGA 商品化

Phase 1 : デジタル化

- JANGA 公式 WEB アプリ公開
- QR カード認証
- 全国ランキング
- JANGA 専用ゲーム
- デジタルトレーディングカード
- トレカモデル募集
- カードバトルおよびイベント機能の開発

Phase 2 : JANGA Coin

- ERC-20 互換コントラクトの設計
- 100 億 JNG の固定総供給量設定
- テストネット検証
- 管理ウォレットの構築
- セキュリティレビュー
- 正式ネットワークの決定
- コントラクトアドレス公開
- アプリ内 JNG 表示

Phase 3 : ウォレット連携

- JANGA アプリ内ウォレット

- 外部ウォレット接続
- MetaMask 対応
- JNG の入出庫
- ゲーム報酬連携
- 不正利用監視
- ウォレット復元および端末変更機能

Phase 4 : NFT 連携

- ERC-721 または ERC-1155 コントラクト
- トレーディングカードの NFT 化
- JNG と NFT の交換
- 限定カード
- 商品連動 NFT
- 店舗限定 NFT
- イベント記念 NFT
- NFT 保有者限定機能

Phase 5 : エコシステム拡大

- JANGA 導入店舗との連携
- 酒類メーカーとのコラボレーション
- アーティストおよびクリエイターとの連携
- 多言語対応
- 海外展開
- 地域限定イベント
- 外部サービスとの連携
- 法令に適合したマーケット機能

ロードマップは将来の目標であり、実施時期および実現を保証するものではない。

29. 運営主体

JANGA Coin の発行・運営主体は株式会社 GLS である。プロジェクトの公開上の責任主体、トレジャリー管理、公式情報、アプリ運営および対外窓口を株式会社 GLS へ統一する。

本書では個人名、通称または匿名名を公式責任主体として表示しない。これは責任を不明確にするためではなく、法人として一貫した説明・管理・連絡体制を示すためである。

会社情報、所在地、事業内容、法人番号および許認可は株式会社 GLS 公式サイトの会社概要を正本とする。

株式会社 GLS 公式サイト：<https://gls-tokyo.com/>

30. 主なリスク

スマートコントラクトリスク

未知の不具合、標準ライブラリ、コンパイラ、連携コントラクトまたは設計上の欠陥により損失が生じる可能性がある。
独立監査は未完了である。

トレジャリー集中リスク

供給の大部分が公式トレジャリーにあるため、鍵管理、内部統制、誤送付、不正利用または大量移転が市場と信頼に大きく影響する可能性がある。

流動性・価格変動リスク

公式プールは小規模であり、価格変動、スリッページ、取引不能、インパーマネントロスまたは流動性減少が発生し得る。価格と換金性は保証されない。

秘密鍵・フィッシングリスク

秘密鍵・シードフレーズの紛失、偽サイト、偽トークン、悪意ある署名または誤送付により資産を失う可能性がある。

法規制・税務リスク

法令、行政解釈、自主規制または税制の変更により、配布、交換、外部移転、DEX、NFT または海外提供を変更・停止する可能性がある。

ネットワーク・外部サービスリスク

Polygon、RPC、ウォレット、DEX、ブロックエクスプローラー、サーバーまたはストレージの障害・混雑・仕様変更が利用に影響する可能性がある。

アプリ・事業継続リスク

JANGA アプリ、商品、提携または運営が変更・縮小・終了した場合、JNG の利用範囲または実用性が低下する可能性がある。

31. 免責事項

JNG は法定通貨、預金、電子マネー、株式、社債または株式会社 GLS に対する持分ではない。

JNG の価値は日本円、米ドル、金、酒類商品その他の資産によって裏付けまたは保証されない。

株式会社 GLS は、価格上昇、最低価格、流動性、上場、換金、利益、配当、元本返還、買戻しまたは継続的な利用価値を保証しない。

JNG、NFT、ウォレット、DEX およびブロックチェーンの利用は、利用者自身が内容とリスクを理解し、自らの判断と責任で行う。

将来計画、配分、ロック、監査、提携、機能、ロードマップおよびサービスは、法令、安全性、技術または事業上の事情により変更・延期・中止される場合がある。

最新の公式サイト、利用規約、リスク説明、プライバシーポリシー、キャンペーン条件およびオンチェーン情報を確認すること。

32. 結論

JANGA Coin V2 は、現実の JANGA 商品、公式アプリ、ゲーム、QR、トレーディングカード、NFT およびイベントを接続するための固定供給型ユーティリティトークンである。

その信頼性は、名称や将来価格ではなく、正しいコントラクトの公開、V1 との明確な分離、販売方針、用途別配分、トレジャリー管理、流動性開示、法務確認および監査状況の継続的な透明性によって築かれる。

株式会社 GLS は、JNG を有料販売せず、アプリ報酬、QR 報酬およびゲームコイン交換を中心に、実際に使われる範囲から段階的に運用する。

更新履歴

Version 2.2 / 2026 年 7 月 30 日

- 発行・運営主体を株式会社 GLS へ統一
- 個人名・通称のクレジットを削除
- V1 および旧 Exchange V2 のオンチェーン永久廃止を実行し、コントローラーと最終確定取引を公開
- 供給配分、流動性、トレジャリー、販売、法務・監査方針を確定
- オンチェーン残高と公式 QuickSwap プールの確認値を反映

確定済み 正式 JNG コントラクト、配置トランザクション、固定総供給量、18 桁、Exchange V3、トレジャリーおよび QuickSwap v2 プールを本書へ反映済みです。

参考情報・公式リンク

株式会社 GLS 公式サイト

<https://gls-tokyo.com/>

株式会社 GLS 会社概要

<https://gls-tokyo.com/会社概要/>

JANGA 公式サイト

<https://janga54.com/>

JANGA 公式アプリ

<https://janga.x0.com/>

正式 JNG V2 コントラクト

<https://polygonscan.com/address/0xa3314a6e2cc2a5235128dfb46aa992d2cf7e390f>

Exchange V3

<https://polygonscan.com/address/0x270b90ab8f7c2c3dcc32b6f44551fc08c53f6d03>

公式 QuickSwap v2 WPOL/JNG プール

<https://polygonscan.com/address/0x878f39fcfd881d16a85db4d61bd98a46cc1c31cd>

法務確認 本書の法令・コンプライアンス記載は一般的な説明です。JNG の販売、交換、媒介、カストディ、外部移転、流動性提供または海外提供を開始・変更する前に、日本および対象地域の専門家へ個別確認してください。

永久廃止済み V1 コントラクト

<https://polygonscan.com/address/0x9d52fdd70f8162c40cebd3babbf37722bd0895f5>

変更不能な V1 永久廃止コントローラー

<https://polygon.blockscout.com/address/0x10c4ec9bea4646809c838f7453a4076f602ff667>

永久廃止の最終確定トランザクション

<https://polygon.blockscout.com/tx/0x0944095daf69da870439a6b2583de3be48383ffe45f2cf0d46cef4128699f864>

コントローラーアドレス

0x10c4ec9bea4646809c838f7453a4076f602ff667

金融庁：暗号資産

https://www.fsa.go.jp/policy/virtual_currency/index.html

発行・運営主体情報

項目	内容
発行・運営主体	株式会社 GLS
英字法人名	GLS CO., Ltd.
所在地	〒105-0004 東京都港区新橋 6-20-11 TOTSU SHIMBASHI BLD. II 3F
法人番号	8010401178559
TEL	03-6821-8238
公式サイト	https://gls-tokyo.com/
ブランド	JANGA
発行日	2026 年 7 月 30 日
文書版	Version 2.2 正式開示版